

## 激動の21世紀となるか、日本の将来を思う

升島 努

21世紀を迎えるにあたって、故吉田久信先生の お父様 吉田 久先生（東京医科歯科大学名誉教授、元学長）に、記念に何かメッセージを戴けますかとたつてのお願いを致しました。大変お忙しい中、ご快諾を得て巻頭を飾って戴きました。本当にありがとうございました。お言葉を、心に刻み、これからも頑張っていくと思えます。それに較べると、自分の考察は小さいのですが、この所思うことをそこはかとなく書き綴って見ます。

<宗教とは> 丁度アメリカから帰った2日後、夕方になると時差ぼけでベッドで寝入っていたうつろな目に入ったあの悲惨なテロの瞬間。「昔は人に仕えていた羊が、今は人を食いつくす羊に」とか言った内容の文章が高校の教科書のどこかにあったように思う。羊とは、宗教の事を指すとの先生のコメント、そうか、人間は、神が創ったという人間の創造物-宗教に何時の日か踊らされ、その言う神の、望まぬ事まで行う愚かな生き物に成り下がったのかとこの所思います。目には目を、正義、どちらも正しいと主張する人間達に、神が居られるなら、きっと嘆いて居られることであろう。イスラエルの共同研究者を日本に招いた時の意外な言葉「日本人は、心から笑っている、これが本当の笑顔、感心した」そう言われてこちらが驚いた。では、貴方の国では？・・・少し悲しく、申し訳ない。その後訪れたイスラエル、この国に居る時の緊張感はなんなのだろうか。初めてのせいもある、前日も撃ちあいが有ったという経験のない戦時意識も、でもタクシーもメーターをごまかす、何より本当に心から笑った顔が見れなく、同じユダヤ人同志も競っている、それはなぜ？ 我欲、憎しみ、そしてそれに宗教、悲しい共存に思えました。私はその行き帰りに寄った、小盗人はいるが人間くさいイタリアが、なぜかとても気に入りました。ノー天気が自分の肌合っているのでしょうかきっと。

先輩達が苦労して豊かにしてくれたこの今の日本、これもそう長くは続かない、そのほとんど一つの民族、寛容な仏教の存在、この平和で豊かな日本に居て良かったと思える日が、この後、何年続くのだろうか？それは、我々と次の世代達の努力にかかっていると思う。

<地域の活性化> 貧困は、日本にもやって来る。人は簡単に首切られる容赦ない世界が現にやって来ている。大学もあやしい。私達は戦後ベビーブーマーの団塊の世代、かわいそうに、いつもお互い激しい競争の中、はい上がってようやく安定を得たと思ったら、首切りの格好の対象に。それでは余りにかわいそうです。日本を支えてきた人達を早く失って、その未来はどうなるのだろうか？ そして、これからは・・・、恵まれて育った一見ひ弱そうな今の若い層（ごめんね）に、その重しがずっしりと肩に掛かっている・・・はずだが・・・。日本人は、その底力を、しかるべき時に、また出すのだろうか、それとも滅びるのであろうか。今、しばしば、日本から逃げ出したい衝動に駆られる時、その行き先をアメリカにして居たのだが・・・これで行くところが無くなったのかな。

こんな時代と言うのに、研究では、億単位の大きなお金が、決まった研究者の所に行き、無駄に使われている。まさに研究バブルである。広大でも生物の吉里先生が、県も含めすでにこの5年間で22億円を使ったとか、それでも大した成果が出ず、出ないとなると、つるんだ県の偉いさんが首になるので、もう数億円とか。この様な研究費は、成果が出ない場合は、本人が損失を補填すればいいんです。そうしたら、もう少し、誠実に研究申請をし、自分に責任を取ろうとするでしょう。今、こんな高額の国民の苦渋の借金から出たお金を使って、遊んで居られる時代ではないでしょう。

そう批判していたら、こちらに、地元産業の活性化で何かと言われ、億単位のお金が積まれそうな気配がしています。どうぞ、このまま、毎年数千万円位でそっとして置いて下さいと願います。が、どうしてもと言われれば、自分は一銭も取らず、地元企業を育てて見ようかと思う。仕方なしに企業視察についてまわると、広島、山口の中小企業も捨てたものではないなと思い始めました。でも、また仕事が増えます。ようやく、広島の地場の社長に年間1億円位の売り上げの道を創る手伝いをし、それが軌道に乗り始めたと安心して居たのに、休ませてくれませんか。もし、そうなったら、皆さん助けてくださいね。事務も忙しくなります。”稲っち”君にひやかされました、「先生、思いつくプロジェクトが次々沢山あって大変ですね」と。馬鹿だから、やるなら地場に雇用と事業の未来への小さな基盤を植え付けて行きたいなと、悪い癖で、すぐ小さな夢を沢山勝手に抱きます。

<教室の事> 教室は今、うんと質量分析づいています。これが結構面白い。装置を自前で作るなどと、狂った事を言って来ましたが、平川先生が入ってくれることで、そして、パナマから来た留学生ガリ君の進めているイオンの動きのシュミレーションで、とても現実味が出てきました。おまけに、日本電子(株)で質量分析一筋に打ち込んできた人物が、なんと僕の物性学科の同級生でした。先日来てくれて、何も知らない自分に、やさしく基礎を教えてくださいました。教室は、ビデオ、質量分析、そして細胞、免疫とテーマと軌道が当面は割に明確ですが、僕の頭の中では、既に何テーマかが走り始めています。今度、企業と一緒に何かを開発するとすれば、さらに、企業を見ながら考えるそれぞれの企業の為の工業的な近未来を手にする為のテーマが走ることになり、一気に増えてしまいます。今だけで、特許にしたいテーマが8つ、書き始めたのが2つです。これは、夜や日曜日に家で書いています。論文も書き始めました。今まで以上に論文の質が問われる時代ですので、まとめ方をしっかりしなくてはいけないなと思っています。

大学も独立行政法人とかで、経営力が問われるとか。やれと言われれば、そんなことは僕の得意な一つと思うけれど、やって何が残るのでしょうか？

こんな時だから、空しい人ごとなどを考えず、自分の基盤とやるべき原点をしっかり見据えて、友人の吉澤先生が良く言う、大学は、思考と時間と空間の自由を与えられた所、ここでこそできる何かを、見つけやり遂げたいな、と思います。

今に、世界初の 色々な「ビデオマススコープ(僕の造語)」をお見せし、そのパフォーマンスを世界に見せつけてやろうと思っています。新しい質量分析装置も、3年以内に作りたいです。見ていて下さい。

もう一つ、これもほら吹きの一つと思って聞いていて下さい。学生をアメリカで過ごさせるためにも、また、自分もアメリカでもう一つの研究基盤と住居を持つためにも、ユタ大のボス Eyring に言って、あるプロジェクトで、NSFでファンドが取れないかとけしかけています。これは成功するまでに、すこし時間がかかるでしょう。今は学生も親が行かさせないでしょうし。サンフランシスコに住む妹も楽しみにしています。これも、もう一つの夢です。

<プライベート> 今年は、すこし趣味を休みました。昨年4、5月ま

で新しい大学院の事で、とにかく会議や作文で忙しく、日本画がひとつも書けていません。今年の春の作品展に出した、桜の絵「華滝」（50号）は、五日市の山奥の有名なしだれ桜を書いたものです。長年世話になったEyring夫妻に、はるばるアメリカまで、でかいまま持って行き贈呈しました。「今まで本当に色々ありがとうございました。下手だけど、これでいつも明るい気持ちになってくださればと願いながら書きました」と言った瞬間に、情けないのですが、涙が出ました。今手元には、20号の超横長の「天空の暁」が残っています。間に合えば今回プリントして、皆様に一緒にお配りできればなと思いますが、多分無理でしょう。いつか版画か何かにしてお配りできればと思っています。吉澤先生とパナマにJICAによる国際協力で向かう途中、メキシコ上空で朝を迎えました。その上空からの朝日のすがすがしさに心打たれて機上でスケッチし写真と一緒に起こして書いたものです。下手ですが、気持ちのみを汲んでくだされば幸せに思います。いつかの約束とさせて下さい。ご迷惑でしょうが。

多くの友人にせがまれて2年前に始めたゴルフは、ミズノの親友や大学の親友に恵まれ上達？しました、先日初めて広大の先生方の会で優勝しました。いままでのベストスコアが92、この時は96で、ハンディーがまだ20以上もありますので、優勝できたのです。これでゴルフは一段落しました。また絵心をそそる季節になりました。そろそろ、絵を描き始めたいなと思っていますが、日曜日にやることが多く、なかなか思う様にはいきません。

—昨日、長年の愛車ロードスターが、ポリスボックスの前でエンスト、蒸気をあげました。この車は私が教授になった平成元年に作られたもので、教授の責任を果たす年数の経過を見てゆくためにもと、大事に乗ってきたつもりですが、やはり寄る年並みにはこいつも勝てないのでしょう。人間の私も、たまに故障を起こします。そのうちウォーターポンプではなく、コンピューターまでもいかれるかも知れませんね。そうならないよう、自分自身をしっかり見つめて行かなくてはと、思っています。コンピューターがいかれてきたら、容赦なく言ってくださいね。後3年で、見直しの任期を迎えます。

夢がどれだけ現実にできるか、今は昔ほど無理は出来ませんが、それだけに着実に行けそうな気がしています。お互い頑張りましょう。

2001年 秋